

NU Topics

名大トピックス

No.310
2019年3月



クローズアップ

Tongali～トンガることを恐れるな

先生に一问一答

渡辺芳人 理事・副総長

キャンパスクローズアップ

エネルギー変換エレクトロニクス研究館 (C-TECs)

名大ニュース／学生の元気：よさこいサークル「快踊乱舞(かいとうらんま)」／受賞／イベントカレンダー／ちよっと名大史

1/29

第147回防災アカデミーを開催

■減災連携研究センター



講演する大原氏

減災館1階減災ホールにおいて、「第147回防災アカデミー」を開催しました。今回は、国立研究開発法人国立環境研究所福島支部の大原利真氏に「東日本大震災後に開始した災害環境研究の取組み」と題して講演をしていただきました。参加者は66名でした。

今回の講演では、2011年東日本大震災以降の災害と環境に関する調査研究として、災害廃棄物・汚染廃棄物の処理処分に関する研究、環境中の放射

性物質の動きの解明、震災による環境変化が人や生物・生態系にもたらした影響の評価、震災復興のまちづくりへの貢献について紹介していただきました。また、2016年に国立環境研究所福島支部が開設され、環境を回復する、新たに創る、将来に備える災害環境研究と、現場である福島が今どうなっているのかについてわかりやすくお話をいただきました。

1/30

脳とこころの研究センターシンポジウムを開催

■脳とこころの研究センター



シンポジウム終了後の集合写真（写真右4人目から長縄センター長、Le Bihan所長、柳田教授、祖父江ディレクター）

鶴舞キャンパス医系研究棟1号館地下会議室で、「脳とこころの研究センターシンポジウム」を開催しました。

当センターは、コホートとコンソーシアム型研究を軸として、疾患の病態解明をはじめ、脳とこころの諸問題解明に向け全学的に取り組んでいます。今回は、5年のセンター設置期限延長が認められてから初めてのシンポジウムで、長縄慎二センター長と、門松医学系研究科長からの挨拶の後、

祖父江 元統合研究室ディレクターによる進捗報告、研究者15名の講演、29名のポスター報告がありました。その後、超高磁場MRI研究センター「Neuro Spin」のDenis Le Bihan所長と大阪大学脳情報通信融合研究センター長の柳田敏雄教授による特別講演がありました。

120名の参加の下、活発な意見交換があり、次の5年への大きな方向性が見えた1日でした。

2/3

第20回先進科学塾@名大「サウンド オブ サイエンス」を開催

■理学部



大太鼓の振動を携帯端末で撮影する参加者

2月2日(土)、3日(日)、第20回先進科学塾@名大「サウンド オブ サイエンス」を理学部物理会議室で開催しました。

市販の携帯端末が備えている毎秒120コマの撮影ができるカメラで、大太鼓やスピーカーの振動を撮影したものを、コマ送りできるアプリや周波数解析アプリで確認したり、アプリの波形観察モードで基本の振動数が同じでも音色が異なる場合があることを確か

めたりして、音の世界をビジュアル的に楽しみました。

ひと昔前は、このような測定には高価な装置が必要でしたが、今や誰でも利用できる身近なものとなっているのは驚くべきことです。また、携帯端末の操作やアプリ指導には、名古屋経済大学市邨高等学校の生徒が協力してくれ、先進科学塾の運営方法に新たな可能性を拓くこととなりました。